

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0278
施設名	光明第五保育園
施設所在地	八王子市山田町 1 6 8 8 - 2
法人名	社会福祉法人多摩養育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

《水の観察》

<テーマの設定理由>

東京都が主催する「とうきょうすくわくプログラム」の『乳幼児期の豊かな育ちをサポートするため、主体的・共同的な探求活動を通じて幼児教育・保育の充実を図る』という目的に賛同し、本園でも取り組むにあたり、「身近な自然」で子ども達の興味、好奇心や探求心を刺激する事はなんだろうと考え、担当保育者を中心に全職員で話し合った結果、『水の観察』というテーマに決定した。水はどうやって流れるのか。どうして渦を巻いて流れるのかを体験を通して子ども達の不思議や疑問などを引き出していけるのではと思い設定した。

2. 活動スケジュール

『水の流れ』がよく見られるようペットボトルや道具を用意し保育者が実演することで子ども達の興味や好奇心を引き出した。子ども達の「やってみたい」を大切にいつでもチャレンジ出来るよう手に取れる所に置き、繰り返し挑戦出来る環境を用意した。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・ペットボトル・キット

保育者が実演し子ども達の「やってみたい」を引き出し、遊びながら体験出来る環境を用意した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

〈ペットボトルでトルネードをおこせ〉

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

ペットボトルに入れた水で、渦をまいて流れる様子を見せ、子ども達の「やってみたい」という気持ちやチャレンジ精神を引き出し、手渡してみた。

「あれ？上手く出来ない」「どうやるんだ？」と子ども達が疑問を抱いたり、失敗を繰り返す中で、「振り方を変えてみるとどうだろう」と違うやり方に挑戦し、上手くトルネードをおこすことに成功すると、その子どものアドバイスをもとに次々と成功させる事が出来た。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

ペットボトルを使って水の流れを観察してみようと始めた実験により、身近にある当たり前の自然に興味や好奇心、探求心といった感情を向けることが出来た。ただ、水が流れていくよりも渦を巻いて流れていく方が速く流れきる事に気付いていた。また、「上手くいかない」を体験する事で子ども同士で意見を出し合ったり、成功した子どもが他の子どもにアドバイスをしたりと成功体験を言葉で伝えるというコミュニケーション力向上にも繋がっていた。